



もたちの学びを保障できる環境を実現するため、1人1台のタブレット端末の整備を、2023年から2020年に前倒しする。併せて、家庭でもつながる通信環境を整備する。

【整備内容】

小学校端末購入費 9,271 台分

中学校端末購入費 4,070 台分

今議会の議案及び専決処分事件は、ほぼ全て、新型コロナウイルス感染症対策であり、全て賛成承認されました。

藤崎ちさこの一般質問

今回の一般質問は新型コロナウイルス感染症対応のため、各会派の質問時間を短縮しました。私の一般質問は6月22日（月）でした。内容をご紹介します。

【質問内容】新型コロナウイルス感染症禍の下での、(1) 放課後児童会 (2) 小中学校 (3) 保育現場 それぞれの問題について。

(1) 放課後児童会について

【質問：藤崎】

児童会の利用率は、自粛の要請の効果で3月から5月へと徐々に減っていった。ご協力に対する、児童育成料の減免はどのようなものだったか。

【答弁：こども部長】

児童育成料とおやつ代の、全額減免や半額減免を行った。6月もご協力に対し減免を行う。

【質問：藤崎】

6月1日からの分散登校中も、児童会は午前8時から午後7時まで開室された。どのように運営したのか、伺う。

【答弁：こども部長】

午前登校の児童は、学校で配られた給食を持って児童会に登室し、児童会で昼食。午後登校の児童は、午前8時に児童会に登室し、午後の学校登校時間に学校に移動して、給食を食べて、授業の後に児童会に戻るといった運営をした。

【質問：藤崎】

学童保育の運営基準の見直しが求められるのではないかと。例えば、現在は1人当たりの面積1,65㎡であるが、密にならないために面積を見直すなど。

【答弁：こども部長】

放課後児童会は厚生労働省令の基準に基づく運営をしている。これからの運営は基準を遵守するとともに、実生活で工夫などをし、感染症拡大防止に努める。



(2) 小中学校の現状と今後について

【質問：藤崎】

3月から学校が休業となって、学習に不安を抱える児童生徒が多い。オンライン授業の環境整備は進められるが、同時に児童生徒の学習意欲も高める必要がある。休業中の児童生徒の心の健康についての把握も大切。市の見解を伺う。

【答弁：学校教育部長】

6月1日から、家庭学習の状況の把握に努めた。学校と教育委員会が連携している。オンライン授業でも子どもたちが進んで学べるよう、指導方法について研究を進める。学校再開時、教育相談で、休業中の心の健康を含む生活について確認している。(次回に続く。)